

令和4年10月16日（日）

本日、「ガールズメッセ 2022」が開催され、皆様とお会いできましたことを、たいへん嬉しく思います。初めに、この度賞を受けられる方々に、心からお祝いを申し上げます。

日本のガールスカウトは一昨年に100周年を迎え、コロナ禍による制約の中でも、様々な工夫をしながら熱心に活動を続けていらっしゃいます。

今年の8月には、日本のガールスカウト運動100周年を記念した「インターナショナルキャンプ」が全国各地で開催され、国連の「持続可能な開発目標」(SDGs)の5番目にある「ジェンダー平等を実現しよう」を目指した活動が行われました。私も戸隠のキャンプを訪れ、参加者が自分たちにできることを考えてまとめた発表や、世界各地におけるジェンダー平等の状況について調べた内容を、興味深く伺いました。キャンプに参加された方々が、仲間と語り合い、考えを深め、力強く発信する様子を拝見し、皆様がこれからもますます活躍していかれる姿を想像しました。この素晴らしいキャンプを多くの方々が心を込めて支えていらっしゃったことも、印象に残っております。

「インターナショナルキャンプ」や本日の催しをはじめ、ガールスカウトの活動を通じて、次の世代が安心して楽しく成長できる環境を作るために力をつくしておられる皆様に、深く敬意を表します。

本日はこの後に、2つのアワードの表彰式と活動報告、調査報告などが行われます。「コミュニティアクション チャレンジ100アワード」では、少女と女性の視点に立って、より幸せな社会と未来の実現を目指す取り組みが、「B-Pアワード」では、ガールスカウトの活動を通して得た知識と技術を生かした、人々に役立つ取り組みが、表彰されると伺っております。また、「18歳～25歳を対象としたジェンダーに対する調査報告」も行われます。皆様のこうした取り組みから、社会の様々な問題に対して声をあげ、仲間と協力して解決を目指し、自分たちが社会を良くするという強い気持ちを感じます。

ジェンダー平等に向けて、多くの方々が努力を続けていらっしゃいます。世界が変化し続ける中、日本においてもこのような努力が実を結び、ジェンダー平等が達成され、誰もがより幅広い人生の選択肢を持てるようになることを、自らの可能性を最大限に生かす道を選べるようになることを、そしてそれがあたりまえの社会になることを切に願います。

終わりに、この催しが皆様にとって大切な思い出になるとともに、皆様の活動が素晴らしい未来につながることを願い、「ガールズメッセ 2022」に寄せる言葉といたします。